

ミカン生育情報

千葉県
平成21年9月号

平成21年8月の気象

平均気温は、第2半旬は平年より0.4高く、他の半旬は平年より0.9～2.8低かった。月平均気温は24.6で平年の25.9より1.3低かった。

降水量は第2、3、6半旬で平年より多く、月合計は161mmで平年より7mm多かった。第2半旬は台風9号の影響により62mmで平年の2.7倍であり、第6半旬は台風11号の影響により53mmで平年の1.7倍であった。

日照時間は、第1～3半旬は平年以下であり、月合計日照時間は202時間で平年より18時間(8%)少なかった。

表1 平成21年8月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	24.2	25.9	4	27	22	37
2	26.4	26.0	62	23	24	37
3	25.3	26.2	39	23	26	36
4	24.4	26.0	0	25	52	35
5	24.8	25.9	4	26	35	35
6	22.8	25.6	53	31	44	40
平均/合計	24.6	25.9	161	154	202	220

病害虫の発生

今年は現在までのところ目立った病害虫の被害はない。

盛夏を過ぎた頃からミカンハダニが増加するので注意する。果樹カメムシ類の発生量は平年並みであるが、地域により餌植物であるスギやヒノキの球果が豊作であり、成虫の発生量に注意する。

果実および樹の生育

果実の生育を各調査地の平均値で見ると、早生温州は横径・縦径の平年比がそれぞれ97、101%、普通温州はそれぞれ102、102%と平年並みで、川野夏柑は、横径、縦径とも107%と平年を上回っている。

本年度の温州みかんの結果量は概ね多く、生育も順調であることから豊作が見込まれる。

表2 果実の生育（平成21年8月31日）

品種	調査地	横径 (cm)	縦径 (cm)
興津早生	三 芳	4.6 (92)	4.1 (96)
	千 倉	5.1 (101)	4.4 (103)
	暖地園研	4.9 (98)	4.3 (103)
大津4号	三 芳	5.2 (105)	4.1 (101)
	千 倉	5.2 (100)	4.2 (102)
	暖地園研	5.2 (105)	4.1 (105)
青島温州	三 芳	5.1 (103)	4.1 (100)
	千 倉	4.8 (96)	4.1 (99)
	暖地園研	5.0 (102)	4.1 (102)
川野夏柑	暖地園研	7.0 (107)	6.2 (107)
早生温州 (平均値) *		4.9 (97)	4.3 (101)
普通温州 (平均値)		5.1 (102)	4.1 (102)

() の数字は平年値（平成6～20年の平均）を100とした比数

* 早生温州：興津早生3調査地の平均

普通温州：大津4号、青島温州3調査地の平均

9～10月の栽培管理

摘果 9～10月にかけて、早生温州の樹上選果と普通温州の仕上げ摘果および樹上選果を行う。仕上げ摘果では小玉果や大玉果、傷果を取り除き、適正着果量まで摘果する。果実同士が密着して変形しているようなところは適宜間引く。樹上選果では収穫直前まで園地を見回り、仕上げ摘果で見落としした小玉果や大玉果、傷果を取り除き、果実品質を揃える。

枝つり・枝支え 果実の肥大に伴い、重さで地面近くまで枝全体が垂れ下がってくると、日照不足により着色不良果が、また地面とのこすれにより傷果や腐敗果が発生しやすくなる。これを防止するため支柱や紐を用いて枝支えや枝つりを行う。

浮皮症の軽減対策 収穫期に過湿条件であると浮皮症が発生しやすいので、防風垣を刈り込んで通風を良くし、排水対策を講じて園地の乾燥に努める。また、カルシウム剤を収穫前までに2～3回散布する。

病害虫の防除

果樹カメムシ類は園内外を見回り、飛来を確認したら早急に防除を行う。

温州ミカン ミカンサビダニは1～2個の被害果を見たら、直ちに防除する。

10月中旬～11月上旬には、貯蔵病害である青かび病、緑かび病の防除を行う。

中晩生カンキツ類 ミカンハダニは発生初期の防除を心掛ける。かいよう病対策として台風前に薬剤散布する。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話 0470-22-2961
果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>